広報

さなだまち

NO.386

2005 10

特集 秋に親しむ ふるさとの民話

お話に夢中…

8月20日に文化会館の児童図書室で行われたお話し広場。真田町民話の会の皆さんが、読んでくれる、さなだの民話に子どもたちは、夢中でした。

特集

秋に親しむ ふるさとの民話

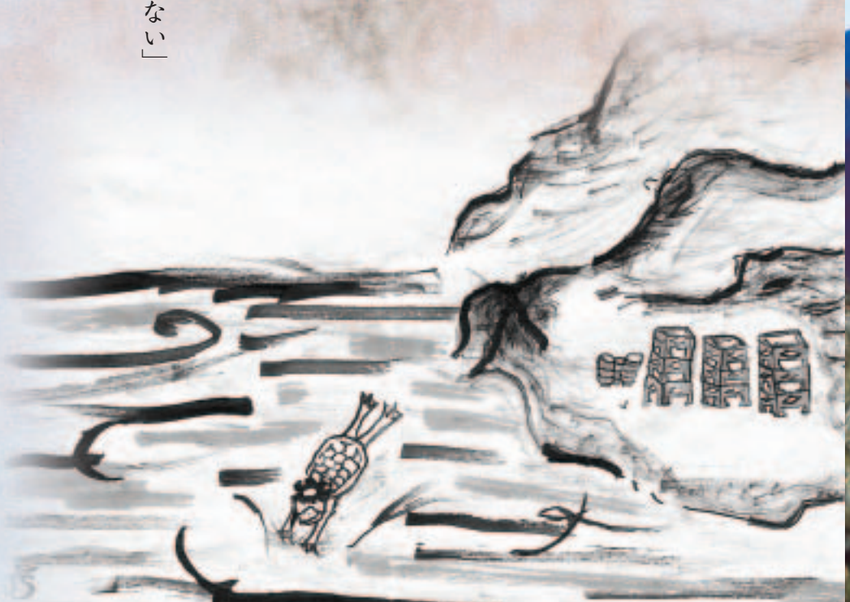
むかし、むかし、あるところに…
こうして始まるなつかしい話。
だれでも、子どものころに
聞いたことのある昔話です。
町内にも、山や川、
そしていつも通る道の脇にあるおじぞうさんや、
神社など、身近なところに、
伝わる民話が幾つかあります。
読書の秋。
今月は、忙しい毎日からちょっと離れて、
ふるさとの民話の世界を
のぞいてみませんか。
ふるさと真田を見つめる目も
変わるかもしれません。
そして、小さな子どもさんのいる方は、
読み聞かせてあげてください。
子どものころに聞いた話は
忘れないものです。
では、一つ目のお話から始めましょう。

椀かし河童

横尾の千古の滝の滝つぼの底は竜宮に通じていて、むかしからぜったいに水をほすことができないと、信じられていました。
そのしょうこに、ときどき竜王さまが姿を見せることがあるということですが、ふだんは竜王さまの使いの河童が、滝つぼの主として住んでいるといわれています。
それでは、この滝つぼの主の河童の話をしましょう。

むかし、横尾の村にまずしい男がいた。
亡くなった親父さまの法事もできないまま何年もすぎてしまった。
それでなんとかして法事をやりたいものだとしきりに思っていた。
ある日のこと、川原へ草を刈りに行って、滝つぼのそばで一ぷくしながら、
「酒や食べ物はなんとかなるにしても、長年の貧乏暮しで、椀も膳もあるわけでなし、お客は十五人はある。どうしたもんだ」と、思案にくれながらつぶやいていた。
それから刈った草を背負ってとぼとぼ家へ帰った。
次の日、また千古の川原へ草刈りに行った男はびっくりした。
きのう一ぷくしながらつぶやいていた所に、それはりっぱな膳とお椀が十五人前そろっていた。
「これはきっと竜王さまが、『親父さまの法事をやれよ』といって、お貸しくださったにちがいない」
喜んだ男は長年の思いがかなって、質素ながら親父さまの法事をすませることができた。
そして、借りた膳と椀を、ていねいにお礼をいってもとの所に返しておいた。
男の話を聞いた村のひとたちは、お振舞をするときにお膳やお椀が足りないと、千古の滝へ行って、「どうぞお膳をいくつ、お椀をいくつお貸しください」と、お願いして翌朝行ってみると、岩の上にお願いした数のお膳とお椀が、ちゃんとそろえて出してくれてあった。
村の人たちは、それを借りてお振舞をすませると、お礼をいってもとの所へ返して、ちょうほうがっていた。ところが、ある家で、お膳とお椀を借りたが、後片付けのときにあやまって、お椀を一つこわしてしまった。
返すときに、わけを話しておわびすればよかったろうに、その家の主人は、「お椀一つのことだから」と、そのままだまって返しておいた。それからというもの、だれがお願いしても、もう貸してもらうことはできなくなってしまった、と。

横尾の千古の滝。岩の上には、水神を祭った祠がある。日照りのときに、雨乞いをすると、必ず雨がふったと伝わる。



きつね山

小玉神社のあたりにきつね山というところがあります。きつね山なんておもしろい名前でしょう。今では、野菜畑になっていますが、むかしは桑畑がきつね山につづいていました。この山にはきつねがたくさん住んでいました。あちこちにきつねの巣もあったにちがいありません。そして、きつね山には、きのこがたくさんでました。

少しむかしのことです。小玉の部落に茂助さんというきのことりの名人がいました。茂助さんは、秋になると待ちかねたように、桑取りのあいまにでも、ちょこっときつね山へ入って、きのこをとってきます。それが茂助さんのなによりの楽しみでした。

その年は、雨がほどほどに降ってお天気もよく、きのこがたくさん出そうな秋でした。

「今年のきつね山のきのこの出はどうだろうかな」と思うと、子どものようにワクワクしてしまう茂助さんでした。

「じいちゃん、行ってらっしゃーい」茂助さんは今日もきのことりです。孫たちの元気な声に送られて、「あいよ。今日もたくさんとってくるからな」茂助さんは手をふって、歩きなれた道を足どりも軽く、きつね山に向かって出かけていきました。

やがて山に入ると、あっちにもこっちにもきのこがたくさん出ています。かぶつぎのこは、ぞくぞくと、くり色の頭をならべています。むらさきしめじは、ずっと奥の方まで、一れつにつづいています。茂助さんは、むちゅうでとって歩きました。今年のきのこの出は最高です。きのこはもう篭いっぱいになっていました。

ふと気がつくと山の中はなんだかうす暗くて夕がたのようです。

「雨でも降らないうちにかえろう。今日はたくさんとれたぞ」と、大喜びでかえりの道を歩きだしました。ところが、どうしたことでしょう。歩いても歩いても家へたどりつくことができません。行っても行っても山の中です。

「おかしいな。道にまよったかな。こんなところでまようはずはないんだが」こんなはずはないと思いながら、茂助さんはどんどん歩きつづけました。やぶの中を歩きまわったりして、やっとのことで家にたどりつくとしているところでした。あまりにかえりがおそいので、心配してみんなで迎えに行こうとしてしまいました。そして、かえってきたじいちゃんの姿にみんなはびっくりしてしまいました。

「どうしただい。そのかっこうは」着ていた服はあちこちやぶれてボロボロ、顔も手足もそこらじゅう傷だらけになって、ふらふらしているではありませんか。篭にはなぜか落ち葉があふれるばかり、きのこは一つもありません。

「あんなにたくさんとったのにな」われに返った茂助さんはがっかりです。きのことりの名人茂助さんも、きつね山のきつねに化かされたのでした。

それでも、茂助さんはこれにこりずに、秋が来るとやっぱり桑取りのあいまに、ちょこっときつね山に入っては、きのこを取っていたということです。

小玉上郷沢にある小玉神社。
南側にきつね山がある。

歯がため地蔵さん

坂上田村麻呂将軍が、角間の鬼ケ城の毘耶王を生け捕りにして、京の都へ連れていこうとすると、実相院のかたわらにお堂を建てて、観音さまを祀りました。

ところが、引き連れてきた毘耶王が、鉄のくさりでしばって引き立ててきました。そして、鬼退治ができたのも観音さまのおかげであると、実相院のかたわらにお堂を建てて、観音さまを祀りました。

ドシン、ドシンと大あばれにあばれるので、傍陽の村の人たちは、

「痛い、痛い」と、大さわぎになってしまいました。

さすがの田村麻呂将軍も、これにはどうしようもなく、お寺の庭で毘耶王の首を落とし、亡がらを池のはたに埋めました。そうして、二度と出てこないようにと、その上に大きな石をかかえてきて置き、お墓のしるしに松の大木を根こそぎにして持ってきて植えました。

それが池のはたにある鬼松・鬼石だということです。

もうこれでだいじょうぶと、田村麻呂将軍は、意気ようようと京の都へ帰っていきました。

ところが、村の人たちの歯はいっこうに治りません。

おとなも子どももお年寄りも、ろくに物も食べられなくて困っていました。

そこで実相院の和尚さんは、「これは鬼めが成仏せずに、さまよっているのかも知らん」と言って、鬼石のそばに地蔵さまをまつって、ねんごろに供養のお経をあげてやりました。

そうすると、村じゅうの人たちの歯のぐらぐらも痛みも、すっかり治ってしまいました。

それからこの地蔵さまは、「歯がため地蔵さん」といわれるようになりました。

今でも、歯がぐらぐらしたり、虫歯になったりして痛いときは、このお地蔵さんにお参りすると、じきに治るといわれます。

萩の実相院の境内にある地蔵。
この横には池がある。

金の鶏

むかし昔、開拓の人々がようやく入りはじめたころの菅平は、二十戸ばかりの貧しくさびしい村でした。

村人は、そのまた昔の菅平開拓の祖先、加藤道光を祭ってお宮をたて、薬草や馬鈴薯をつくって暮らしていました。

その後、しだいに開墾の人びとが入って来て、蚕を飼ったりいろいろの作物をつくったりするようになりました。

そのころのことでしょうか、夜になって道光神社のまえの道を人が通ると、お宮の森かげから、目もまばゆい金色の光がさして、夜明けでもないのに「コケコッコー、コケコッコー」と、鶏が時をつくるのです。

このことは、たちまち村じゅうのひょうばんになりました。

「私も見た」「わしも聞いた」

「金色のまぶしい鶏だった」「不思議なことだ」……と。

ところが、この鶏をつかまえようと考える男がいて、

ある晩のこと、お宮のかげにかくれて、

金の鶏があらわれるのを待っていました。そこへおりよく人がやって来ました。

すると、まっ暗な中に金色の光がさしはじめたとみるまに、

あたり一めんにかがやいて金の鶏があらわれ、

「コケコッコー」と、時をつくりました。

男は、あまりの神々しさに、その場に居すくんでしまいそうでしたが、

気をとりなおしてこっそり近づいていきました。

すると光も姿も消えてしまいました。そこからはなれてかえりかけると、

金色の光がさして「コケコッコー」と鳴きます。

また近づくと消えてしまいます。なんどやっても同じことです。

男はすっかりあきらめてかえりました、と。

村びとは道光さんのめでたいしるしにちがいないと、

あがめ大切にして、今までにもまして一生けんめい働きました。

こうして村じゅうがゆたかになって、菅平はますます栄えたのでした。

菅平開拓の祖といわれる加藤道光をまつる道光神社。

伝えていきたい さなだの民話

民話を集めて本を作ったり、子どもへの読み聞かせなど、さなだの民話を伝える活動をする町内３団体の方に話を伺いました。

今回掲載した４つの民話は、真田町民話の会が編集して、平成８年に教育委員会から発行された「さなだの民話」から紹介しました。また、挿絵も真田町民話の会の方が筆で描いたものをお借りして掲載しました。本は、教育委員会で、１０００円で販売しています。

民話の世界は永久にそこにある

内田元子さん／うちだ　もとこ（出早）●真田町民話の会の代表。

真田町民話の会は、平成5年から、町の民話を集めて、自分の子どもに話すように書いてみようということで、書き始めました。そして、約4年かけて、「さなだの民話」という本ができました。

資料にある話や、お年寄りに話しを聞いて書いたほか、断片的な話もありましたから、現地を見て、肉付けをして書いた話もあります。

世の中がどんなに変化しても、民話の世界は永久にそこにあります。民話は、おじいさんおばあさん、お父さんお母さんから、子どもたちに引き継がれ、未来に伝承されていきます。多くの子どもたちに、読んでほしいと思います。

地域の民話を子どもたちに

ミミールの会は、故宮島清さんの指導で、真田の民話を紙芝居にしたところから、活動が始まっています。その当時の活動拠点が石舟の喫茶ミミールだったので、この名前になっています。現在、図書館のお話広場のほか、ウォークラリーやふれあい広場など子どもの集まるイベントで真田の民話の紙芝居を上演しています。子どもたちは、どんな場面でも、わくわくして聞いてくれます。実は、私たちの身近な所にもたくさんの民話があります。そうした地域の民話を子どもたちにも、知ってほしいですし、そういう機会を作っていきたいと思っています。紙芝居をしたい方も募集してます。

大塚なお美さん／おおつか　なおみ（真田）●紙芝居で民話を伝えるミミールの会代表。

楽しんで聞いてもらえる話を

「おとぎの会」は、有線放送で毎週流れる「おはなしの世界へ」で、町の民話などを朗読をしています。ジャンルには、こだわりませんが、昔話や童話を読む会員が多いと思います。有線では、知っている身近な人が、読んでいるので、親しみを感じてもらえるのかなと思います。図書館での読み聞かせもしていますが、昔話は読んでいても楽しいです。子どもさんや、お年寄りに楽しんで聞いていただける話、引きつけられるものがあればいいなと思っています。活動は20年ほど続いている会ですが、会員の年齢に幅も出てきて、これからも長く続けていける会だと思っています。

荒木克子さん／あらき　かつこ（真田）●有線でおなじみのおとぎの会の代表。

四つ葉のスケッチ

上田市 丸子町 真田町 武石村 共通企画

来年の春、私たちの住むまちは合併して新しい市に生まれ変わります。お互いのまちにはどんな個性があるのでしょうか？

このコーナーでは、4市町村の魅力を毎月テーマに沿って紹介します。

●今月のテーマ　うごく

紅葉で色づいた村里を走る

●ともしびの里駅伝大会

たけし

さわやかな秋の空気の中、武石村を駆け抜ける「ともしびの里駅伝大会」。今年で16回目をむかえ、県内はもちろん、県外からも数多くのチームが参加します。

コースは全長25・1キロメートル、7区間で、高低差は150㍍あります。参加資格は小学4年生以上ですが、日ごろ鍛えた健脚を見せるチーム、参加することに意義があるチームとさまざまです。この時期は紅葉も見ごろです。スポーツの秋、色づいた山々を眺めながら健康づくりはいかがですか。

息の合った動き

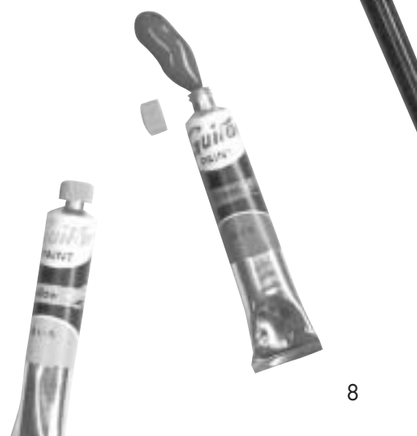
●丸子実高男子バレー部

まるこ

明治45年創立の丸子実業高校はスポーツがとても盛ん。野球や陸上、ボクシングなどは県内有数の実力校。全国での活躍も目立ちます。中でも今、注目なのが男子バレーボール部。

昨年は、念願だった春高バレー（写真）やインターハイへの初出場を決め、その名を全国に轟（とどろ）かせました。

今年の県高校総体では、決勝で惜しくもライバルの岡谷工に敗れてしまいましたが、その後の大会で雪辱を果たし、秋の国体は5人が出場します。彼らの活躍はこれからが本番です。



城下町の歴史をたどる

●真田幸村ロマンウォーク

うえだ

上田は「リュックの似合うまち」。歩いてみれば、普段は通り過ぎていたまちの風景の中に新しい発見があります。10月22日（土）・23日（日）に行われる「真田幸村ロマンウォーク」は、城下町・上田の歴史を歩いてめぐる秋の恒例イベントで、全国から多くの参加者が集結します。上田城を起点に、城下町や鎌倉街道・丸子城、「蚕都」上田の遺産、寺社・北国街道などを歩きます。申込みは10月7日(金)まで。4市町村役場窓口に申込書があります。

たすきをつないで

町内一周

●第47回町一周駅伝大会

さなだ

体を動かしたいスポーツの秋。真田町恒例の行事が、町一周駅伝大会です。町発足の昭和33年に始まったこの大会は、今年で47回目を数えます。

地区代表チームを始め、姉妹町の和歌山県九度山町や、町内クラブなど、昨年は42チームが参加。6区間23・7キロメートルをたすきでつなぎます。

ひと月以上前から練習を重ねるチームもあり、中学生から大人まで参加する駅伝大会に、当日は多くの人が、沿道から声援を送ります。

Information

■丸子町

げんきまるこ産業フェスタ'05

特産品の展示販売や農産物の直売、食のまつりなど、楽しいイベントが盛りだくさん。16日には「木曽義仲挙兵武者行列」が、丸子町文化会館からメイン会場まで行われます。ご家族そろってお出かけください。

日時　10月15日（土）
午前10時～午後4時
16日（日）午前9時～午後3時
会場　カネボウ跡地（中丸子）
問：丸子町商工会　☎42－2213

■上田市

第18回うえだ環境フェア・資源活用広場（フリーマーケット）

参加25団体による環境や消費生活に関する展示・発表、環境クイズ、体験コーナー、バザー、野菜果物・農産物加工品販売、フリーマーケット、花鉢・エコ文具などのプレゼントや園芸用肥料の無料配布（数に限りあり）があります。ぜひお出かけください。

日時　10月16日（日）10:00～15:00
会場　上田創造館とその周辺
問　上田市生活環境課　☎23－5120

■武石村

ともしびの里文化祭開催
芸術の秋、文化祭に行ってみよう!

日時　11月5日（土）
午前9時から午後9時
11月6日（日）
午前9時から午後3時
会場　武石村中央公民館ほか
問　武石村教育委員会
☎85－2030

■真田町

菅平高原大収穫祭

ハクサイ、レタス、ニンジン、きのこ…菅平産野菜の直売や、コーンスープ、きのこ汁、ふかしじゃがいもなど高原の味も楽しめます。さらに、冬の宿泊券・リフト券・ヘリスキー搭乗券が当るトクトク抽選会も。気になる見逃せない2日間です。

期日　10月8日（土）・9日（日）
場所　ＪＡ信州うえだ菅平支所前広場
問　菅平高原観光協会　☎74－2003

新市誕生まで
あと**156日**（10/1現在）

来年度に向けて予算編成などの準備進行

9月6日から16日まで、平成17年第3回真田町議会定例会が開催されました。

この議会では、除雪ドーザーの購入契約の締結などのほか、平成17年度の一般会計補正予算など、30件の案件が審議されました。

町長所信表明（要旨）

大詰めを迎える事務事業の調整

現在、合併に向けた準備を本格化させています。4市町村が協力して住民生活に支障をきたさないよう、事務事業の大詰めとなる調整作業を進めています。

地域住民の皆さんが合併して本当によかったと実感できるよう、それぞれの地域において、合併前に整理できる課題に対応するとともに、地域の課題を整理確認し、今後行なわれる新たな実施計画の策定や、持ち寄りとなる来年度の予算編成に反映できるよう準備を進めているところです。

これら一連の準備作業のなか、各担当部局の意見等を集約し、新市の新たな組織機構や職員体制等の各編成方針についても、各専門チームや分科会等で並行して精力的に協議が行われております。

合併記念事業で広報のデジタル化

新市発足に向けた町の記念事業につきましては、各区の公民館や公共施設などへの記念植樹、閉町記念式典の開催や記念誌の発行、更には、「公民館報」から「広報さなだまち」までを、デジタルデータ化することなどを企画し、所要の予算を今定例会に提案しています。

長小と菅平小中の給食室を整備

将来にわたり衛生的な施設で自校給食を継続して提供するため、計画的に町内全ての小中学校のドライシステム化に取り組んでいます。

本年度は整備計画の最後となる、長小学校と菅平小中学校の給食室のドライシステム化工事に国の補助事業採択を受け着手しています。

すでに両校の給食室内の取り壊し作業も完了し、年内の給食再開に向けて給食施設の整備が順調に進んでいます。

年内の給食再開に向けて整備を進める長小学校の給食室。菅平小中学校の給食室も同様に整備が進んでいる。

アスベスト相談窓口を設置

最近、アスベストに関する健康被害状況が相次いで報道され、全国的な問題になっています。当町におきましても、アスベストが使用されている可能性のある昭和55年以前に建築された町有の建築物について、アスベストの使用状況等の実態調査を行っています。

調査により、菅平高原自然館のトイレの天井にアスベストの使用が確認されたため、直ちにトイレの使用を禁止し、飛散防止対策を進めています。今後、自然館の閉館を待って早急に除去工事を行なうこととし、所要の工事費の補正を今定例会に提案しています。

この他、使用の疑いがある一部の施設については、現在、検体を採取して検査機関に分析を依頼しています。

また、アスベストによる健康被害や大気汚染、建物や建材に関する相談窓口をそれぞれ担当部署に設置しています。

サニアパークは時間延長で混雑緩和

菅平高原のスポーツ合宿は、今年も県内外からラグビー、サッカー、陸上競技など数多くのチームをお迎えし、大勢の選手たちで賑わっています。

繁忙期の利用時間を延長しましたサニアパーク菅平では、例年の混雑状況が時間延長により緩和され、利用される選手の皆さんから大変好評をいただいています。

夏には、利用する選手で混雑するサニアパーク。繁忙期の利用時間延長は、選手に好評。

合併による商工業者の経費負担へ支援

来年3月6日の新生「上田市」発足に向け、町内の商工業者には住所表示の変更など様々な経費負担が見込まれています。

これら合併に伴い必要となる商工業者の経費負担の軽減を図るため、商工業振興事業補助金を商工会に交付し、商工業者を支援していきたいと考え、この事業に係る所要の予算を今定例会に提案しています。

各地区で行われた地震総合防災訓練

過日実施しました地震総合防災訓練では、各地区の自主防災隊を中心に多くの皆さんにご参加いただき、本番さながらの初期消火訓練や避難訓練、災害関係情報の収集・伝達訓練など、実践的で地域に密着した訓練を行うことができ、防災に対する普段からの備えの大切さに、思いを新たにしたところであります。

何時やってくるかわからない地震や水害等による災害に対する常日頃からの備えの重要性が認識され、危機管理の充実強化が求められています。

この危機管理については、行政が担うことはもち論でありますが、行政だけでなく、町民の皆さんとの協働による対応が大切であると考えております。

大型除雪機械を計画的に更新

積雪寒冷地である当地域にとって、除雪体制整備は、重要課題です。その一環となる、老朽化が著しい大型除雪機の更新については、雪寒機械整備国庫補助事業の採択が決定したことから、早期導入を図り、万全な体制で今シーズンの除雪業務に臨めるよう準備を進めています。

今後も、除雪業務の要となる大型除雪機械については、計画的な更新に努め、安全・安心な道路環境の構築に向けた除雪体制の整備に努めていきます。

なお、今議会定例会に、この除雪機械購入に係る契約議案を上程しています。

更新を迎える大型除雪機械購入の契約議案が、今回の議会で可決された。

可決された主な議案

◇平成17年度の一般会計補正予算

3558万2千円の増額が可決され、総額46億7421万円になりました。主な内容は、次のとおりです。

○合併準備単独事業　1068万円
○合併記念事業　722万円
○公民館一般経費　752万円
○商工振興事業補助金　600万円

町は税の公平への信頼を守っていきます

町税は町収入の根幹

皆さんから納めていただいた町税は、町の様々な事業に使われています。例えば、雪が降ったときの除雪車による雪かき、保育園の通園バスの運行、小中学校で使う教科書の購入、ゴミを出したときの処理費、病院にかかったときの医療費の町負担などです。こうした事業を行なっていくためにかかる維持費や運営費などの一部に町税が充てられます。税金がなければ、これらの費用や労力はすべて自分で負担することになります。

町の平成16年度決算では、町民税や、固定資産税などの町税収入は、12億7467万円で、町収入の22・6％になります。

国から配分される地方交付税や補助金などの依存財源が減る中で、町税は、最大の自主財源であり、町収入の根幹です。

滞納は許されません

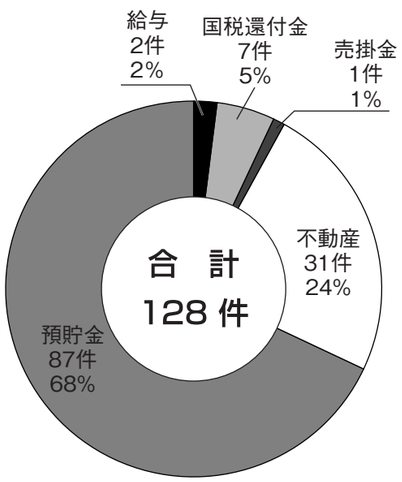
このように、公共サービスを支え、町収入の根幹をなす町税ですが、一部に滞納する人がいることも事実です。バブル経済崩壊後、倒産やリストラなどにより個人の収入が減少しました。また、全国や長野県でも、特に観光地を抱える市町村では、税の滞納に苦慮しているのが実情です。

しかし、大多数の方は滞納せず、納めています。税は法律に基づき公平に課税されますから、納税も公平に行われなければなりません。滞納を許すことは、行政への信頼を揺るがすことにもなりかねません。

ですから、町は、どんなに納付を促しても、納税しない滞納者に対しては、その財産を差し押え、滞納者の税金に充てる滞納処分を行っています。グラフは、平成16年度町の差し押えの実績です。

町は今後も悪質滞納者に対して、滞納処分を行い、きちんと納税している方の税の公平への信頼を守っていきます。

平成16年度町税に関する差し押え実績



インターネット公売により未納額の減少を図ります

ネット公売の利点

このように悪質な滞納者に対しては、財産の差し押えが行われ、その差し押えた財産が、土地・建物・自動車・絵画・貴金属などの場合、売却し、そのお金を滞納者の税金に充てます。これが公売です。

通常の公売は役場の掲示板に、公売する物件を掲載し、入札する方法をとります。この場合、情報の提供範囲は限られます。しかし、インターネットを使うことで全国に公売物件の情報が提供できます。これにより、より大勢の人が公売に参加（入札）することができ、売却の可能性が広がります。また、売却価格の上昇も期待できます。さらに、すでに実施している東京都では、滞納者の自主納付にもつながっています。

こうしたことから、町は次のとおり10月からインターネット公売を始めます。

インターネット公売の日程

●公売公告日　10月11日（火）
公売物件について詳しい内容を、役場の掲示板に掲示します。

●公売参加申込期間
10月14日（金）午前10時～
11月1日（火）午後5時まで
10月14日（金）午前10時よりインターネットで物件を見ることができます。
真田町のホームページ（http://www.town.sanada.nagano.jp/）から、またはヤフートップページ（http://yahoo.co.jp/）より「インターネット公売」で検索してください。

●入札期間　11月8日（火）午前10時～
11月15日（火）午前10時まで

ご注意：今回の公売参加申込及び、入札はインターネット上のみとなります。
インターネットでの問い合わせは受け付けていません。また、公売公告日前の、物件に関するお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。

問い合わせ　納税管理係
有線2065　☎72―0154

楽しい～保育園

18年度入園案内

平成18年度保育園の入園申し込みを受け付けます。

来年3月の上田市、丸子町、武石村との合併により、合併3市町村の保育園への申し込みもできます。希望されるかたはお申し込みください。

受付日程

●そえひ保育園　11月1日（火）午前10時～11時

●すがだいら保育園　11月1日（火）午後1時30分～2時30分

●さなだ保育園　11月2日（水）午前9時～11時

入園できる基準

保育園に入園できるのは、次のいずれかに該当する方です。詳しくはご相談ください。

●保護者が家庭外で働いている、または自営業・内職をしているため子どもの保育ができない方。

●母親が妊娠中であるか、出産後間がない方。この場合、入園期間に限度があります。

●保護者が病気や心身の障害などで児童の保育ができない。または、家庭にいる病人等を看護しているため児童の保育ができない方。

●火災・風水害・地震などの災害のため、その復旧の間、児童の保育ができない方。

申込方法

申込書は10月11日から各保育園・役場福祉係で配布します。必要事項を記入のうえ提出してください。このほか、申込書以外に必要な書類があります。詳しくは、申込書と一緒に配る「保育園入園のしおり」をご覧ください。

また、出産前から申し込みができます。母子健康手帳をお持ちのうえ申し込み下さい。

合併市町村の保育園

現在の上田市、丸子町、武石村の保育園は、申込書と一緒に配る「保育園入園のしおり」をご覧ください。

保育園・保育料の決定等

入園年齢は4月初日の年齢で判断します。入園希望園の申し込みが集中した場合は、第2希望以降の保育園になる場合があります。

また4月～6月までの保育料は、保護者の方から提出いただいた書類をもとに暫定で決定し4月中旬にお知らせします。正式な決定は、来年度市県民税額の確定後（通常は6月）になります。この決定により、年度途中で保育料が変更になる場合があります。

途中入園

特別な事情で急きょ入園する必要がある場合、受け入れの可能な範囲で年度途中での入園を受け付けています。

申込みから入園までの流れ（概要）

11月1日～11月2日　新規入園申し込み受付
←
11月～1月　入園基準審査・各保育園の人数調整
←
2月上旬　入園承諾書発送
←
2月中旬　一日入園または入園説明会
←
4月上旬　入園式
←
4月中旬　保育料決定通知発送

心豊かな子どもを育てる支援をします。

来年度新市では、「心豊かな子ども」を保育目標に、家庭と手を取り合い、地域とのふれあいを大切にしながら、一人ひとりに向き合った保育をしていきます。家庭と保育園でいっしょに、子どもたちの心身の健やかな成長を考え、見守っていきましょう。

保育園はどんなところ？

保育園は、保護者が仕事や病気等により家庭で子どもの保育ができない場合に、0歳から小学校就学前までの乳幼児を対象に、家庭に代わって保育を行う児童福祉施設です。

保育時間は？

月～金…午前8時30分～午後4時30分

土…午前8時30分～午後0時30分

（園によって保育時間が異なる場合があります。）

保護者の勤務等に合わせて、朝・夕ともに時間を延長している保育園があります。（申込書と一緒に配布する保育園入園のしおりをご覧ください）

利用の際は、保育料のほかに延長保育料が必要です。

保育料はどうなるの？

公立・私立とも基本となる保育料は同じです。家庭の課税状況や子どもの年齢によって決まります。また、保護者負担軽減のため、次のような場合に保育料を軽減します。

●同一世帯で2人以上の児童が同時に入園している場合

●同一世帯の第1子が小学生で、第3子以降にあたる児童が入園している場合。

福祉係に問い合わせください。

保育サービスの紹介

入園児童対象のサービス

●障害のある子どもの保育…保育園での集団生活が可能な範囲でお預かりします。

●給食…地場農産物の利用に努め、安全でおいしい給食を提供します。

入園していない児童を対象としているサービス

●一時保育…保護者の仕事、求職活動等、出産、病気、通院、冠婚葬祭等で、一時的に家庭で子どもの保育をすることができない場合に利用できます。利用の際は、一時保育料が必要となります。

その他のサービス

●子育て支援・相談

子育てに関する相談等を子育て支援センターや各保育園で受け付けています。また、各保育園では保育園等に通園していない児童を対象に園開放等を行っています。詳しくは、保育園に問い合わせください。

このほか、合併により、来年度からは、休日保育や病後児一時預り、出産育児支援などのサービスも利用可能です。詳しくは、保育園入園のしおりをご覧いただくか、福祉係まで問い合わせください。

問い合わせ　福祉係
有線2022　☎72―2203

館報・広報 ひもといてみれば

③昭和51年4月号　ダボスとの姉妹都市提携

来年3月5日で、47年以上の町としての歴史を閉じ、新生上田市として新たな出発をする真田町。

そこで、町の誕生当時から16年間発行されていた「公民館報さなだ」と、昭和46年から発行された「広報さなだまち」の中から、印象深い出来事があった号をひもといて、町の歴史を振り返ってみます。

日本のダボスといわれる菅平高原。そのスキーが取り持つ縁で、姉妹都市提携をしているのが、スイスのダボスです。その提携は、昭和51年3月25日に当時の宮島静男町長がダボスを訪れ調印しました。昭和51年4月号の広報さなだまちをひもといてみます。

互いの旗を交換する当時の宮島町長とダボスのヨスト村長。

『調印式には真田町側から、宮島町長はじめ、21人の使節団が出席しました。それぞれの村と町の旗を交換したあと、「文化、地方行政、スポーツを通じ両町村がお互いの理解と協力によって、親密な関係を結び援助し合う」という証書にダボス村のヨスト村長と宮島町長が調印しました。

ダボス村はスイス東部にある観光地で人口一万四千人、アルプスの谷間に位置し、ヨーロッパのスキー、スケートなど、ウインタースポーツの中心地です。菅平と自然や地形がよく似ているといわれるものの、規模はダボス村の方が数段大きく、宿泊施設も千七百人も泊まれるホテルがたくさんあり登山電車などもあります。

これからの具体的な交流計画としてはスキー指導員、青年婦人などの派遣、小学生の書いた絵などの交換、また菅平高原をよく知ってもらうため来年2月頃、ダボス村のヨスト村長を真田町に招く予定です。』と当時の広報はダボスの紹介をしています。また、翌年には、ヨスト村長を始めとする使節団43人が真田町を訪れています。

ダボスとの姉妹都市提携を伝える昭和51年4月の広報さなだまち。

記事では、このほかに、ダボスを訪問した宮島町長にインタビューしています。その中でダボスの行政について印象に残ったことは、**『選挙によって5人の評議員（すべて非常勤）を選出し、互選で村長を選ぶこと、議会がなく、すべて住民投票により村政を行うことなどが日本と違い印象深いことでした。』**と日本との違いに触れています。

これ以降、スキー指導員交流や、両町の子どもたちのホームステイなどが行われ、29年に渡る交流が続けられ、今日に至っています。

あの人を訪ねて ⑬

外国にもう一つの家族ができたみたいです。

清水麻衣さん（真田中２年）

中学生の海外ホームステイのチームリーダー

しみず　まい●ホストファミリーからもらった思い出の品は、ウォンバットと、押し花の付いた壁掛け。木の皮を使った手作りの品。

この７月29日から８月11日まで行われた中学生のオーストラリアホームステイ体験。そのチームリーダーを務めた清水麻衣さんに感想を聞きました。

「自分の視野を広げてみたかったのと、むこうの生活で英語が通じるかも気になったので」と応募の動機を話す清水さん。「知っている単語を並べたり、辞書を出して話したりして、最後の方は言っていることも分かって、自分でも答えられた」と自信もついたよう。

現地の学校では、午前中、英語の授業を受けて、午後は、現地の子どもたちと一緒に授業をしました。年齢の違う子どもが混じり、同じ授業時間でも、自分の学びたい科目を学ぶオーストラリアの学校は、「日本と違って子どもがやりたいことをやっている」点が驚いたそうです。

ホストファミリーは馬を飼っていて、「馬のごはんの手伝いをした」ことも思い出。12泊も過ごしたホストファミリーには、帰ってきて手紙も書いたそうで、「外国にもう一つの家族ができたみたい」と話してくれました。

こんにちは読者です 49

このコーナーでは、広報に寄せられた意見について考えます。皆さんのお便りをお待ちしています。

声

架空請求を受けた

今月は、８月号の特集「だまされないために」にモニターの方から寄せられた意見に答えます。

転ばぬ先の杖と思って読ませてもらいました。

なんと物騒な世相と思っていましたところ、理解できる記事に頼もしく読みました。我が家でも妻あてで身に覚えのない最終通告なるハガキが２回きまして、１回目は駐在さんのアドバイスで無視。２回目は上田消費生活センターのアドバイスで、こと無きに終わりました。被害が出ないうちに、特集でなくとも、ハガキを拡大したものを掲載し、このあたりの文章に要注意！なんてどうでしょう。

答

広報の役割をはたしていきます

今は、消費生活センターを装う架空請求もあるそうですから本当に油断のならないことだと思います。心配なときは、関係機関に相談することが、よいと思います。

ご指摘のように、これからも、こうした手口や事例を分かりやすく紹介し、注意を呼びかける広報の役割をはたしていきたいと思います。

真田中学校が準健康推進学校に

このほど真田中学校が、県の学校保健会から平成15年度に引き続き準健康推進学校の表彰を受けました。

この表彰は、県学校保健会が地域社会の健康に対する関心を高め、児童生徒の健康増進と学校保健の向上を図ることを目的に毎年表彰を行っており、本年度は県下に600校ある小中学校の中で、小学校1校、中学校1校が選ばれました。

真田中学校が、学校、地域、PTAの連携を大事にし、学校保健委員会や、健康シンポジウムで健康問題を提案し、みんなで考え合おうというスタンスで活動していること、また、「自分を守れ」というテーマで年間を通じて取り組んできた保健給食活動が評価されたものです。

同校の清水有二校長は、「前回表彰から積み重ねた活動が評価され、健康教育といえば、真田中といわれるようになりました。大変ありがたいことです」と話していました。

表彰状を手に、清水有二校長（中央）と長岡千鶴子栄養士（左）と横澤里美養護教諭（右）

教育相談のお知らせ

10月は次の日程で実施します。相談には教育委員や事務局職員などがあたり、内容については秘密が厳守されます。相談を希望される方は、開催日の1週間前までに、学校教育係までお申し込みください。

日時 10月23日（日）午前9時～12時
会場 真田町文化会館会議室
申し込み先 学校教育係
有線2043 ☎72―2655

子育て講演会のお知らせ

たんぽぽ文庫では、育児中の方などを対象に講演会を開催します。子育てに参考になる話や、話題の絵本などの紹介もあります。託児もありますので、皆さんご参加ください。

日時 11月4日（金）午前10時～
会場 保健センター　和室
講師 小山仁美 先生
演題 「子育てと絵本」
問い合わせ たんぽぽ文庫　小宮山
☎72―3563

真田町人権学習会を次の日程で開催します

10月12日（水）から21日（金）までの日程で、各地区の公民館を単位に、町の人権教育学習会を開催します。

今年は、学習会の原点に返り、指導者の講話を中心にしたプログラムを計画しています。

詳しくは後日配布するチラシをご覧ください。

※各会場とも、時間は午後7時30分から午後9時までを予定しています。

10月の図書館だより

今月の休館日
・月曜休館　3／17／24／31日
・祝日とその振替休館　10日（月）／11日（火）
・月末整理休館　28日（金）

新着図書の紹介
「世にも美しい数学入門」
（藤原正彦・小川洋子）
「奇跡を起こした村のはなし」
（吉岡　忍）
「希望格差社会」
（山田　昌弘）
「私という運命について」
（白石　一文）
「蒲公英草紙（たんぽぽ）」
（恩田　陸）
「暁の旅人」
（吉村　昭）
「雨と夢のあとに」
（柳　美里）
「崖の国物語」
（ポール・スチュアート）
「あの日の空の青を」
（まつい　のりこ）
「ローラ・ローズ」
（ジャクリーン・ウィルソン）
「ふしぎなお人形　ミラベル」
（アストリッド・リンドグレーン）
「からだを読む」
（養老　孟司）
「決断力」
（羽生　善治）
「こんにちは　たまご　にいちゃん」
（あきやま　ただし）

総合文化祭を開催します

昨年の舞台発表祭から

芸術の秋、今年も総合文化祭を開催します。

作品展は町民の皆さんどなたでも出品できます。また、舞台発表祭では、ご自慢の喉や楽器の腕前をご披露いただけます。この機会に、皆さんの日頃の生涯学習活動の成果を思う存分発表していただきたいと思います。

作品展出品及び舞台発表祭出演を希望される方は、後日配布するチラシ付属の申込用紙でお申込みください。

作品展 10月29日（土）～30日（月）午前9時～午後5時・町民体育館
書道・絵画・陶芸・写真・版画ほか
舞台発表祭 11月3日（祝）午前9時～午後4時・町文化会館ホール
民謡・舞踊・吟詠・器楽・声楽ほか

ちょっと変わったバレー体験しませんか？

ニュースポーツ教室開講

スポーツの秋!!　仲間や家族のコミュニケーションの場として、みんなでいい汗流しましょう。

今回の内容は、『4面コートバレー』と『ワンバウンドふらばーるバレー』を中心に開講します。

◇4面コートバレー◇

十字のネットで4コートに仕切る1チーム4人制のバレー。ボールはビーチボールを使用し、従来のビーチバレーと違うのが、前からだけでなく横からもボールが飛んでくる。

◇ワンバウンドふらばーるバレー◇

軽い変形ボール（ふらばーる）を使って、2つのチームがネット越しにふらばーるを打ち合う。ボールが変形しているので、飛ぶ方向が予想付けにくくゲームを面白くする。

○開講日 10月20日（木）
毎週木曜日　計8回
○時　間 午後7時30分～9時
○場　所 町民体育館
○対　象 小学生以上
○定　員 30名程度
○講　師 真田町体育指導委員
○保険代 1人　500円
○申込み期限 10月13日（木）
○申込み スポーツ振興係
有線2244　☎72―2655

大会結果

分館対抗球技大会

8月21日（日）分館対抗球技大会が、ソフトボール33分館、ソフトバレーボール19分館、バレーボール9分館の参加で開催されました。

各分館優勝目指して練習をし、当日は各会場で、元気いっぱい熱戦が繰り広げられました。

◇ソフトボールの部◇
《洗馬川運動公園》
優　勝 真田　**準優勝** 横尾
第3位 中原　上横道
《真田中学校グラウンド》
優　勝 大畑　**準優勝** 荒井
第3位 角間　田中
《運動公園グラウンド内野・外野》
優　勝 下横道　**準優勝** 下原
第3位 中組　下郷沢
優　勝 戸沢　**準優勝** 曲尾
第3位 大日向　赤井
◇バレーボールの部◇
《真田中学校体育館》
優　勝 下原　**準優勝** 萩
第3位 真田　中原
◇ソフトバレーボールの部◇
《町民体育館A・Bブロック》
優　勝 田中　**準優勝** 小玉上郷沢
第3位 大畑　大日向
《町民体育館C・Dブロック》
優　勝 曲尾　**準優勝** 中組
第3位 荒井　横沢
吉澤　遼・大井　綾花
（長小）1分39秒03
4男　竹村　星哉・塚田　瑶平
久保　道啓・宮沢　直道
（長小）1分34秒89
200mリレー
5女　坂口　遥萌・横沢亜希子
鈴木あかね・木島きらら
（本原小）3分16秒51
5男　酒井　雅俊・宮崎　優也
宮崎　嵩之・田辺　幸汰
（菅平小）3分36秒17
200mリレー
6女　倉島かすみ・三浦由美子
坂口　結菜・山崎菜美子
（本原小）3分06秒95
6男　三井　悠生・武捨　一樹
福田　航介・鈴木　雄大
（傍陽小）2分52秒39

真田町水泳記録会

8月27日（土）ふれあいさなだ館において、第13回真田町水泳記録会を開催しました。参加者104名が自己記録の更新を目指して一生懸命泳ぎました。

25m平泳ぎ
4女　鈴木　咲希（長）　31秒34
4男　塚田　瑶平（長）　28秒95
50m平泳ぎ
5女　坂口　遥萌（本）　59秒20
5男　小宮山　涼（長）　58秒82
50m平泳ぎ
6女　倉島かすみ（本）　51秒50
6男　土屋　庄平（本）　46秒15
25m背泳ぎ
4女　倉島恵美香（長）　28秒91
50m背泳ぎ
5男　小宮山　涼（長）　1分08秒69
50m背泳ぎ
6女　山川　奈子（本）　1分01秒37
25m自由形
4女　吉澤　遼（長）　20秒41
4男　塚田　瑶平（長）　19秒64
50m自由形
5女　小林　妙子（長）　43秒50
5男　飯島　雄祐（傍）　45秒17
50m自由形
6女　倉島かすみ（本）　41秒03
6男　大久保賢志（長）　新33秒77
（新：大会新記録）
100mリレー
4女　倉島恵美香・鈴木　咲希

第21回真田町硬式テニス大会

9月11日（日）運動公園テニスコートにおいて、第21回真田町硬式テニス大会が開催されました。

結果は次のとおりです。

《女子ダブルスの部》
優　勝 上原由美子・柳沢八重子
準優勝 黒田敏子・高部邦子
第3位 塩川よし枝・永井町子
《男子ダブルスの部》
優　勝 桜井雅文・保科　亮
準優勝 堀内直樹・粟原英心
第3位 飯塚義隆・宮島国彦

11月5日、6日は真田の里新そばまつり

町内産のそば粉で打った新そばをご賞味ください。そば打ち体験や、福引もあります。

日時　11月５日（土）・６日(日)　午前11時～午後３時（売り切れ次第終了）
場所　ゆきむら夢工房・十勇士の里新鮮市直売所食堂
問い合わせ　振興公社
有線２０６２　☎72―0150

救急法講習会を開催します

日時　11月20日（日）午前９時～午後１時
場所　福祉センター２階大会議室
内容　事故や急病のときの医師や救急隊員が来るまでの救命法、応急手当の仕方。ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の使用方法。
その他　参加費は無料です。講師は日本赤十字社の指導員です。
申込締め切り　11月７日（月）
申込・問い合わせ　社会福祉協議会　有線２０９１　☎72―2998

いずみ幼稚園の体操教室とリズムバリエーションの公開保育

小さいお友達、誘い合ってお出かけください。

日時　10月18日(火）午前９時45分～11時30分
場所　いずみ幼稚園体育館
内容　・体力や機敏性を伸ばす体操教室・音楽に合わせて身体を動かし楽しさを味わう・砂場や遊具、自分の好きな場所で遊ぼう・おやつ・第２回入園説明会
問い合わせ　いずみ幼稚園
有線３７９８　☎72―２２６２

非着用者の致死率は9倍以上です

シートベルト非着用者の致死率は、着用者の致死率の９倍以上です。また、後席に同乗していた車外放出死者の34％は子どもです。

かけがえのない自分の命、最愛のわが子の命、愛する家族の命を守るのはドライバーの責務です。シートベルトを締めましょう。

問い合わせ　上小地方事務所生活環境課　☎25―7113

自然体験インタープリター養成講座を開催

自然体験プログラムの基礎やノウハウを学び地域で活躍できる人材の育成を目的に自然体験インタープリター養成講座を開催します。

日時　第１回11月５日（土）午前10時～午後４時
場所　菅平リゾートセンター
内容　**・基調講演**「自然体験活動と子どもたちの未来～地域の活性化めざして」講師：信州大学教育学部教授、平野吉直先生
・ワークショップ「すぐに使えるアイスブレイクゲーム等」
参加費　無料
申込締め切り　11月３日（木）
※講座は、全日程で９日間ありますが、初回１日のみの参加も可能です。詳細は、ＮＰＯ法人やまぼうし自然学校ホームページ（http://yamaboushi.org/）をご覧下さい。
問い合わせ　ＮＰＯ法人やまぼうし自然学校　☎74―2735

環境にやさしい買い物キャンペーンを実施

環境に配慮した商品の選択購入やレジ袋の節減など、身近な買い物を通して、環境に配慮したライフスタイルを考え、できることから実践しようというキャンペーンです。特製エコバッグが当る懸賞も行います。

懸賞内容
賞品　特製エコバック
対象期間　10月１日～31日
応募締め切り　11月８日（火）当日消印有効
応募方法　環境配慮型商品に付いているエコマークなどの環境マークを５点集め、官製ハガキに貼って住所、名前、電話番号、年齢、性別を記入のうえ応募ください。
応募先・問い合わせ　〒３８０－８５７０（住所不要）長野県庁地球環境課　☎026―235―7169

17年度自衛隊生徒募集

受付期間　平成17年11月１日～平成18年１月10日
受験資格　15歳以上17歳未満の男子で中学校卒業者(見込み含む)
試験日　平成18年１月14日(土)
高等教育　入隊と同時に高等学校（通信制）入学、高等学校卒業資格を取得（３年間）、就業年限：４年、終了時３等陸・海・空曹に昇任、将来の専門技術者を養成
説明会　11月3日(水)、20日(日)　午後１時30分～３時、自衛隊上田募集事務所で開催
申込・問い合わせ　自衛隊上田募集事務所　☎22―5267

秋のお茶会へのお誘い

紅葉の山寺での茶会で、静かなひとときを過しませんか？

日時　10月23日（日）午前10時～午後２時
場所　長谷寺（真田）
料金　１席３００円、無料で、お茶たて体験もできます。
問い合わせ　大福会　荒木
有線３３６３　☎72―2268

上小高等職業訓練校の学校開放際

施設見学や親子物作り教室、作品展示を行います。無料の豚汁もあります。お越しください。

日時　平成17年11月５日（土）　午前10時～午後３時まで
親子物作り教室は、製作数に限りがありますので、先着順で定員になり次第締切ります。また、作品１個は無料。（２個目からは有料）
問い合わせ　上小高等職業訓練校
☎22―2666

戦後60周年平和祈念事業にご協力ください

広島県大竹市では、終戦まで市内にあった旧海軍海兵団、潜水学校に在籍された方、戦後、大竹港に引き上げてこられた方の証言や手記、写真などの資料を集めています。どんなものでも結構です。心当たりのある方はご連絡下さい。
問い合わせ　戦後60周年平和祈念事業実行委員会（大竹市教育委員会内）☎0827―53―5800

長野大学吹奏学部定期演奏会にお越し下さい

日時　10月16日（日）　午後１時開場、１時30分開演
場所　上田市民会館　入場無料
問い合わせ　長野大学吹奏学部代表丸山　☎090―7016―8881

麻しん、風しん予防接種法改正のお知らせ

平成18年４月１日より予防接種法が改正され、麻しん、風しんの個別予防接種が大きく変わります。

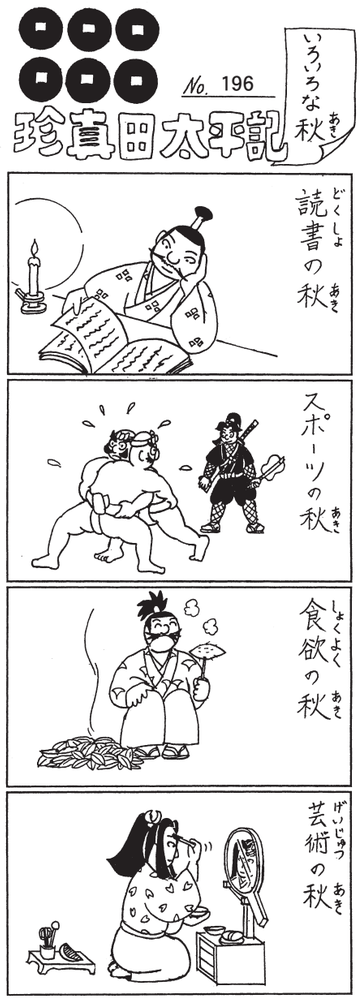
●変更点
①麻しん風しん混合のワクチン接種となり、単独ワクチンによる接種がなくなります。
②接種対象者が変わり、接種回数も２回接種となります。
第１期　生後12ヶ月以上24ヶ月未満に接種
第２期　５歳以上７歳未満で、小学校就学前の1年間に接種

今年度は7歳６ヶ月未満まで接種できますが、来年度は接種できません。１歳以上７歳６ヶ月未満で麻しん、風しん予防接種のどちらか一方か、または、両方とも未接種のお子さんは、今年度中に済ませてください。まずは、母子手帳で接種歴を確認してください。

●法改正にともない今年度の日程を変更します
麻しんは、来年３月の接種期間を中止します。風しんは、来年２月に新たに接種期間を設けます。
問い合わせ　保健センター
有線２０５３　☎72―9007

乳幼児健康診査と予防接種

（10月６日～11月５日）
１歳６か月健診　10月７日（金）午後１時15分～１時40分受付
場所／保健センター
対象／16年１～４月生まれ
2歳児歯科検診・親子ふれあい教室
10月13日（木）午前９時～９時20分受付
場所／保健センター、
対象／15年６～９月生まれ
３歳児健診　10月14日（金）午後１時15分～１時40分受付
場所／保健センター
対象／14年６～８月生まれ
乳児健診　10月28日(金）午後１時15分～１時40分受付
場所／保健センター
対象／16年12月、17年３・６月生まれ



風しん　10月
場所／本原医院・小林医院
対象／16年１～６月生まれ・7歳６ヶ月未満の未接種児
問い合わせ　保健センター
有線２０５３　☎72―９００７

行政相談、心配ごと相談

日時　10月25日(火)午前9時～正午
場所　福祉センター
問い合わせ　行政係
有線２０１１　☎72―２２０１
または社会福祉協議会
有線２００７　☎72―２９９８

衆議院選挙 町の投票率は77.31％

９月11日、衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官の国民審査が行われました。

町の投票率は77.31％となり、平成15年11月９日に行われた前回選挙の75.77％を１.54ポイント上回りました。

真田町の開票結果（届け出順）

衆議院小選挙区選出議員選挙

いわさき　忠夫 ……２,３３１票

いわや　昇介……８２９票

羽田　つとむ ……３,８７６票

無投票・その他……１７１票

衆議院比例代表選出議員選挙

社会民主党……４１０票

国民新党……２７０票

民主党 ……２,９２０票

自由民主党 ……１,８４５票

公明党……９１４票

日本共産党……６７７票

無効投票・その他……１７２票

真田町の投票結果

	当日の有権者数	投票者数	投票率（％）
男	4,528	3,535	78.07
女	4,794	3,672	76.60
計	9,322	7,207	77.31

交通事故相談所をご利用ください

県では、交通事故のことで困っている方の相談窓口を設置しています。示談の進め方、損害賠償の請求方法、過失額や賠償額の計算方法などなんでも受け付けます。

相談は無料で、電話相談も受け付けています。

相談・問い合わせ　上田相談所（上田合同庁舎内）　☎23－1260

心の病のある方憩いの家をご利用ください

竹室にある精神障害者憩いの家は、心の病を持ちながら地域に暮らす方や、その家族が気楽に集まって、話をしたり、のんびり過ごせる居心地のよい場所です。

専任の相談員が、精神障害者保健福祉手帳の申請や障害者年金、通院医療費公費負担制度や福祉医療制度、共同作業所やヘルプサービス、ショートステイ利用などの相談にのってくれます。お気軽に相談ください。

問い合わせ　精神障害者憩いの家
☎72－8008
保健センター
有線２０５３　☎72－9007

道路交通センサス 都市ＯＤ調査にご協力をお願いします

10～11月に全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）と都市ＯＤ調査が行われます。これらは将来の道路づくり計画を策定するために行う基本的な調査です。

自動車をお持ちの方の中から無作為に選定された方に調査員が伺って行う、アンケート調査を行いますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ　県上田建設事務所管理計画課　☎25－7165

よい社会をつくるために、国民一人ひとりがお互いに義務や責任として守り、理解する必要のある事柄を定めた「土地基本法」という法律が制定されています。この法律で定められている、国民に理解し、守っていただきたい４つの基本理念は、次のとおりです。

①公共の福祉の優先②投機的な土地取引の禁止③計画に従った適正な利用④利益に応じた適切な負担

この月間は、特にこれらの基本理念を理解し、土地について関心を高めていただくために、設けられています。

問い合わせ　政策係
有線２０１５　☎72－２２０２

おはなしドキドキパークinさなだを開催

おはなしぱけっと号がやって来て、イベントを開催します。参加無料ですので、大勢の皆さんお越しください。

日時　10月15日（土）午前10時（受付開始９時30分～）～午後12時30分

場所　運動公園第４駐車場（テニスコート横）※雨天時は文化会館

内容　道化師倶楽部ファニーのコメディショー、パネルシアター、絵本の読み聞かせを予定。ぱけっと号では自由に絵本が読めます。

問い合わせ　児童館
有線２４２２　☎72－0323
子育て支援センター
有線２３０５　☎73－2140

10月は土地月間 土地とともに豊かな社会

土地問題を解決し、豊かで住みよい社会をつくるために、国民一人ひとりがお互いに義務や責任として守り、理解する必要のある事柄を定めた「土地基本法」という法律が制定されています。この法律で定められている、国民に理解し、守っていただきたい４つの基本理念は、次のとおりです。

①公共の福祉の優先②投機的な土地取引の禁止③計画に従った適正な利用④利益に応じた適切な負担

この月間は、特にこれらの基本理念を理解し、土地について関心を高めていただくために、設けられています。

問い合わせ　政策係
有線２０１５　☎72－２２０２

おはなしドキドキパークinさなだを開催

おはなしぱけっと号がやって来て、イベントを開催します。参加無料ですので、大勢の皆さんお越しください。

日時　10月15日（土）午前10時（受付開始９時30分～）～午後12時30分

場所　運動公園第４駐車場（テニスコート横）※雨天時は文化会館

内容　道化師倶楽部ファニーのコメディショー、パネルシアター、絵本の読み聞かせを予定。ぱけっと号では自由に絵本が読めます。

問い合わせ　児童館
有線２４２２　☎72－0323
子育て支援センター
有線２３０５　☎73－2140

交通事故相談所をご利用ください

県では、交通事故のことで困っている方の相談窓口を設置しています。示談の進め方、損害賠償の請求方法、過失額や賠償額の計算方法などなんでも受け付けます。

相談は無料で、電話相談も受け付けています。

相談・問い合わせ　上田相談所（上田合同庁舎内）　☎23－1260

心の病のある方憩いの家をご利用ください

竹室にある精神障害者憩いの家は、心の病を持ちながら地域に暮らす方や、その家族が気楽に集まって、話をしたり、のんびり過ごせる居心地のよい場所です。

専任の相談員が、精神障害者保健福祉手帳の申請や障害者年金、通院医療費公費負担制度や福祉医療制度、共同作業所やヘルプサービス、ショートステイ利用などの相談にのってくれます。お気軽に相談ください。

問い合わせ　精神障害者憩いの家
☎72－8008
保健センター
有線２０５３　☎72－9007

道路交通センサス 都市ＯＤ調査にご協力をお願いします

10～11月に全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）と都市ＯＤ調査が行われます。これらは将来の道路づくり計画を策定するために行う基本的な調査です。

自動車をお持ちの方の中から無作為に選定された方に調査員が伺って行う、アンケート調査を行いますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ　県上田建設事務所管理計画課　☎25－7165

私が選ぶ新生上田市の「市章」展を開催

皆さんから応募いただいた新市の市章デザインを展示します。来場した方には、新市にふさわしい市章に投票していただきます。

また４市町村の原風景写真展も同時開催します。大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。

会期・会場

10月８日～９日　丸子町町民センター

10月15日～16日　上田市中央公民館

10月22日～23日　真田町文化会館

10月29日　武石村中央公民館

時間はいずれも午前９時～午後４時。ただし８日は、午後１時～。

問い合わせ　合併協議会事務局
☎28－6053

子育てのお手伝いをしてみませんか

乳幼児や児童の保育に関心や熱意のある方で、子供を預かれる方、預けたい方のための講習会を開きます。資格、経験、性別は問いません。ご参加ください。

日程・内容　11月10日（木）ファミリーサポートセンターの説明、子どもの遊び

11月11日（金）チャイルドシートの着用、子供の事故と安全対策

11月16日（水）子供の食事・健康管理、子供の身体の発達とその問題点

11月17日（木）子供の心の発達とその問題点、保育の心・子供の世話、提供会員（サブリーダー）との交流

場所　上田市ふれあい福祉センター

時間　午後１時～３時30分

その他　参加無料、無料託児あり、講習会には全日程参加が必要です。

申し込み・問い合わせ　上田市ファミリーサポートセンター
☎＆FAX21－3016（受付　月曜～金曜の午前９時～午後４時）

ごみ収集をあなたも体験してみませんか

10月はリサイクル推進月間です。この月間に、ごみ収集体験と処理施設を見学して、ごみ処理について意識を高めましょう。

日時　10月28日（金）午前９時～午後12時

体験場所　町内のごみ集積所

視察場所　不燃ごみ処理施設

締め切り　10月24日（月）

問い合わせ　生活環境係
有線２０４６　☎72－２２０４

犬と猫の不妊手術費用の一部を助成

捨て犬や捨て猫を防ぐため、手術の費用の一部を助成します。

助成対象　上小にお住まいの方が、飼われている犬や猫に不妊・去勢手術を行ったとき。

ただし10月中に上小の協力獣医が行ったものに限ります。

助成額　めす５０００円
おす３０００円

問い合わせ　長野県動物愛護会上小支部　☎25－７１５３

アスベスト（石綿）に関する相談窓口を開設しています

アスベストに関して不安や疑問がある方は町または県などの窓口へ相談ください。長野県ホームページ(http://www.pref.nagano.jp）にも県の取り組みや相談先が、掲載されています。

	町の窓口（☎72-2200）		県などの窓口	
	担当課	内線番号	担当課	電話番号
総合窓口	生活環境係	154 有線2046	地方事務所 生活環境課	☎25-7151
労災関係	観光商工係	152 有線2042	上田労働 基準監督署	☎22-0338
建築、建材関　係	管理 国土調査係	174 有線2089	地方事務所 建築課	☎25-7142
健康相談	健康推進係	537 有線2053	保健所 保健予防課	☎25-7149
便乗した悪質商法	生活環境係	154 有線2046	上田消費 生活センター	☎27-8517

専門の医師がいて相談・診察が受けられる医療機関は、次のとおりです。診療日時は事前に各医療機関に問い合わせください。

鹿教湯病院　☎44-2111

佐久総合病院　☎0267-82-3131

小諸厚生総合病院
☎0267-22-1070

長野松代総合病院
☎026-278-2031

さなだ ゆうほう番組表（10／6～11／5）

放送時間は、夕方6時30分～（再放送は翌朝６時～）となります。おはなしの世界へ、学校・保育園だよりは、夕方５時～

日	曜	番組名	／出演者
6	木	駐在所だより	／真田駐在所　所長
8	土	おはなしの世界へ「ねこがみわける」	／おとぎの会　鎌田　洋子さん
9	日	学校だより「かりがね祭をふりかえって」	／真田中学校
11	火	身近な税の話「マイホームを取得したとき」	／上田税務署
12	水	図書館の窓	／図書室
13	木	暮らしの豆知識	／上田消費生活センター
15	土	おはなしの世界へ「夢十夜」	／おとぎの会　広瀬　しず江さん
16	日	保育園だより「大きくな～れ　みんなの木」	／そえひ保育園
		みんなの食生活「子どもたちの食育」	／保健センター山崎栄養士
18	火	みんなの健康　「予防接種とインフルエンザの予防について」	／保健センター看護師　大久保　真知子
20	木	農業アドバイス	／上小農業改良普及センター
22	土	おはなしの世界へ「おばすて山」	／おとぎの会　小林　つた江さん
23	日	学校だより「クラスの活動」	／長小学校
25	火	生活のしおり	／ＪＡ長支所増田生活指導員
27	木	さなだ通信	／町内から
29	土	おはなしの世界へ「はらのおきゅう」	／おとぎの会　佐納　良裕さん
30	日	学校だより「思いでの修学旅行（６年生）」	／傍陽小学校
1	火	生活環境係から	／生活環境係
3	木	公民館だより「人権フェスティバルについて」	／生涯学習係
5	土	おはなしの世界へ「野ばら」	／おとぎの会　星野　照子さん

水道工事当番店

10月の水道工事当番店です。

工事店名＼月日	10月		
金井設備商会㈱ ☎72-2118 有線 3356	＊	6	19
㈲駒屋商店 ☎72-3696 有線 2373	＊	7	20
㈲真田建設 ☎72-2019 有線 5430	＊	8	21
石巻設備 ☎73-2021 有線 4454	＊	9	22
㈲長崎商店 ☎73-2511 有線 2368	＊	10	23
㈱アサヒ興業 ☎72-3414 有線 5333	＊	11	24
㈲ドーム管工 ☎72-0771 有線 4383	＊	12	25
山崎設備工業㈲ ☎73-2322 有線 4210	＊	13	26
㈲信濃空調 ☎72-5706 有線 6249	1	14	27
若林設備工業所 ☎72-3166 有線 5332	2	15	28
イチノセ管工 ☎72-3000 有線 5216	3	16	29
浅間設備㈱ ☎72-3938	4	17	＊
菅平設備 ☎74-3933	5	＊	30
岩渕住設 ☎74-4122	＊	18	31

めざせ健康日本一！

子どもの肥満

小児肥満はこの30年間で2～3倍に増え、小・中学生の10人に１人が肥満と言われています。大半は運動不足や過食、夜型の生活リズムなどの生活習慣が原因で、高血圧、２型糖尿病、高脂血症などの生活習慣病を合併する子も少なくありません。また、肥満が原因でいじめを受けたり、不登校になるなど心理面の健康問題もでてきています。

成人の肥満は個々の脂肪細胞が大きくなるのに対し、子供の肥満は脂肪細胞の数自体が増え、そのまま減らないために成人肥満に移行する可能性が非常に高いのです。将来、生活習慣病にかかる危険性を抑えるという意味においても、子どもの習慣、つまりは家族全体の生活習慣を健康的なものに改善することが望まれます。

特に“食”に関しては、食事の内容を見直す事はもちろんですが、家族で楽しく食事を作る、食べることなどを通して、子ども達が正しい知識を持って食事を自己管理できるように、家庭や学校、地域が連携して子ども達を支援していくことが大切でしょう。

戸籍の窓

ご両親からのメッセージ
やさしい子に育ってね！

小山凛実ちゃんとお母さん

8月届け出分

☆お誕生おめでとう

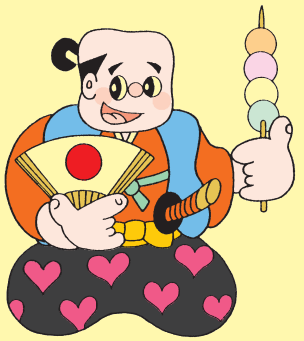
桑田	葵衣（あおい）	雅之	菅平
桑田	彩芭（いろは）	亜貴子	
田中	里菜（りな）	文敏	石舟
		美智子	
小山	凛実（りみ）	涼太	曲尾
		美和子	
関	綺乃（あやの）	隆行	竹室
		恵	
磯崎	櫂（かい）	敦	菅平
		麗子	
田中	絵梨（えり）	正一	大畑
		葉子	

□ごめいふくをお祈りします

山崎今朝治	78	戸	沢
坂口　暉敬	90	十林	寺
堀内　照水	78	上横	道
横澤　惠子	51	竹	室
滝沢　鈴子	75	石	舟

月曜日は午後7時まで！
役場延長窓口（住民票・印鑑証明・所得証明・納税証明）をご利用ください。

真田町イメージキャラクター
笕　十蔵



©杉浦茂

納税と使用料

10月31日（月）
- 個人町県民税（普通徴収）
- 国民健康保険税
- 介護保険料（普通徴収）
- 保育料
- 町営住宅使用料
- ふれあいの館利用料
- 在宅支援サービス利用料

11月1日（火）
- 水道料金
- 下水道農集排料金

クッキング　No.107

かぼちゃのミルク煮

（4人分の材料）

かぼちゃ ……300g
牛乳 ……200cc
塩 ……ひとつまみ
マーガリン ……小さじ2

簡単に作れて、体にもヘルシーです。
倉澤雪子さん（表木）

（つくり方）

①かぼちゃは、種を除き、食べやすい大きさに切る。
②なべにマーガリンを入れ、かぼちゃを炒め、塩・牛乳を加え、弱火で煮汁がなくなるまで煮る。

カメラニュースは、町の中の様々な出来事や話題をお届けしています。

夢が現実になった瞬間 クラス全員が乗れた牛乳パックの舟

広報７月号で紹介した長小学校２年生のクラス全員26人で乗れる牛乳パックの舟がこのほど完成。９月２日に長小プールで進水式が行われました。スイミー号と名付けた舟は、縦4㍍、横3㍍ほど。人が乗ってもつぶれないようにベニヤを表面に敷き、テーブルやイスも設置された工夫満点の力作。子どもたちが、町内の施設などで呼びかけて集めた牛乳パックは、4000個近く。子どもたちは、「できないと思ったけど、力を合わせて、できてよかった」など一人ずつ感想を発表しました。利用した牛乳パックは、今後溶かして、ハガキを作る予定だそうです。

ＯＩＤＥＹＯハウスなどの作品がＣＤジャケットや歌詞カードに

このほど、町内のＯＩＤＥＹＯハウス（小玉上郷沢）、風の工房（横沢）、アトリエＦｕｕ（大畑）の知的障害などハンディのある方の絵40点ほどが、雅音人（がねっと）のＣＤジャケットや歌詞カードになりました。雅音人は、松本市在住の下田民子さんと、愛知県日進市在住の辻喬之（たかし）さんの二人組。親子で聴きたい、心温まる５曲が、ＣＤに収録されています。

８月には、この作品展示がアザレアンさなだ横のギャラリーＳａｎで行われました。会場にいた作品提供者のうちの二人、山口栄子さん（左写真左・曲尾）は「ＣＤに使われてうれしいです。曲も感動します」と。古市津喜子さん（左写真右・竹室）は「とても素敵なことです」と話していました。

2学期になったら 学校がピカピカになっていた

２学期が始まった８月19日、夏休み中に一部改修が行われた本原小学校と、傍陽小学校では、新しくなった校舎を見て、子どもたちが、喜んでいました。

本原小学校では、昇降口前のインターロッキングブロックや、校舎廊下などの一部が新しくなりました。特に、昇降口前インターロッキングブロックは、大きな日本地図がブロックで描かれ、長野県と町の位置も現されています。これには、子どもたちも「びっくりした。離れたら日本地図とわかった」と大好評でした。また、教室すべての床が張り替えられた傍陽小学校では、「すごいピカピカの床で、気持ちよかった」と勉強もすすみそうな様子でした。

真田氏に親しもう！傍陽小の 子どもたちが遊ぶ上田合戦カード将棋

広報に掲載されている珍真田太平記の作者柳沢雄二さん（萩）が、このほど「上田合戦カード将棋」を作製。9月５日に傍陽小学校の６年生がこのゲームを体験しました。このカード将棋は真田軍と徳川軍が戦った上田合戦を題材に、真田幸村や十勇士などが描かれたカードで戦い、相手大将か陣地を先にとった方が勝ちとなるゲーム。「育てよう真田っ子」の取り組みの一環で真田氏に親しもうと、３年ほど前に、傍陽小が柳沢さんに相談したのがきっかけで、以来10作ほど作った物の最新版です。休み時間に体験した柄沢翔平君は、「難しかったけど、おもしろかった」と話していました。

保存会が活気を取り戻した 中原のりんご祭り

８月23日、中原の延命地蔵で、りんご祭りが開かれ、区内外から訪れた人で、久々にぎわいました。

昭和13、14年ころは、30から40軒の出店が出て、盛んだったというりんご祭り。ここ数年は出店もなく、区民による仏事のみを行っていました。そこで、今年４月に区民による「中原りんご祭り保存会」を立ち上げ、祭りを盛り上げようと話し合ってきました。

今年は、寄付してもらったりんご２００個と甘酒、子どものお菓子が振る舞われ、出店も子どもたちでにぎわいました。竹でできた手づくりの灯（あか）りも並べられ、雰囲気のある夜祭りとなりました。保存会の宮下尚会長は「あまり気張らず、長く続くいい祭りにしたいと思います」と話していました。

広報さなだまち No.386
平成17年10月1日発行
編集・発行／長野県真田町　情報政策課
☎0268(72)2202
印刷／(有)アオヤギ印刷

建設中の「らいてうの家」現場見学会には、80人以上が集まった。

あずまや高原に建設がすすむらいてうの家。

8月28日に、あずまや高原でNPO法人平塚らいてうの会が、建設中の「らいてうの家」の現場見学会と、講演、シンポジウムを開きました。

女性社会運動家、平塚らいてうゆかりの品を展示したり、全国や、地元の女性が交流し、らいてうの志を受け継いでいこうと建てられるこの家。木造一部2階建て、延べ床面積約175平方メートル。中には展示室、図書室、和室などがあります。今年6月に着工し、8月18日に上棟。形が見えてきました。オープンは、来年5月を目指します。

参加者は、東京方面や上田、町内から会員など80人以上。見学会では、同法人会長の米田佐代子さん（東京）が、木材は町内などすべて県産材を使っていることなどを説明しました。その後、隣接するホテルで、「人が地域で生きるということ」をテーマに、講演とシンポジウムが開催されました。真田平塚らいてうの会の花岡静枝会長（横尾）は、「家の形が現実的になってうれしいです。皆が足を運んで交流し、活用していきたいと思います」と話していました。

Town Topics Oct 2005

季節の中で

先日、仕事帰りの夜、自動車を運転していると、突然道路に犬のようなものが飛び出してきました。あわてて、停止して見ると、それは顔の細長いきつねでした。自動車などない昔に、夜道できつねに出会ったら、もっと驚いただろうと思いました。

特集で紹介した「さなだの民話」の中にも、幾つかきつねにまつわる話が出てきます。今よりずっと道も細く、周りは、森や林だった昔、真田の里のあちこちで、きつねに出会い、ばかされた人がいたのでは？と思いました。（なべ）

インターネット情報
http://www.sanada.or.jp/
http://www.town.sanada.nagano.jp/

わたしたちの町の人口
11,700人（＋ 3）
男　5,783人（－ 4）
女　5,917人（＋ 7）
世帯数　3,805戸（－ 2）
平成17年9月1日現在（　）内は前月比

R100 PRINTED WITH SOY INK この広報紙は環境に配慮し、古紙100%、植物性大豆インキを使用しています。